

自己改革

組合員の皆さまとの対話を通じた取り組みを実施中!

組合員の皆さまとの対話を通じ、より深くJAを理解いただき、組合員の皆様の意見や要望にお応えするための取り組みを実施しています。



さらに!

自己改革の取り組み冊子を作成しました!

これまでの自己改革の取り組みについて、目で見て分かりやすくお伝えできるよう、冊子を作成いたしました。今回はその一部をご紹介します。



自己改革とは?

地域農業の課題やJA経営の課題を組合員の皆様とともに解決し、地域の皆様にとって「なくてはならないJA」を目指していく取り組みです。

“どうしても農業機械の購入や、修理にコストがかかってしまう”という声から、新しく農業機械のレンタルを開始しました。

管理機や草刈り機などを他社よりも低価格でレンタルができるようになっておりますので是非ご利用ください。お近くの営農センターで予約を受付けています。



農業支援 事例① 農業機械レンタルの開始

農業機械のコストがかかってしまい、購入や修理が難しい、農業機械のレンタルがなかったらいいな。

令和2年4月より各地域で管理機や自走式刈草機のレンタル事業を開始しました。営農センターにて受付しております。

あいち尾東管内の組合員のみならず、農業機械に係るコスト削減、農作業の負担軽減、農産物及び農家の収入向上を目的として農業機械のレンタルを開始いたしました。レンタル機械の利用によりこれまで機械が無く不便な状態であった畑作や果樹の管理にも取り組めるよう取り組んでまいります。ご希望の方は営農センターへお問い合わせください。

農業機械	管理機	自走式刈草機	チューブ
あいち尾東	1,500円/1日あたり	2,500円/1日あたり	3,500円/1日あたり
A社	3,850円/1日あたり	11,000円/1日あたり	18,150円/1日あたり
B社	4,400円/1日あたり	6,600円/1日あたり	27,500円/1日あたり

農業支援 事例② 農地保全への取り組み

農家の高齢化が進み、農地を管理できない人が増え、耕作放棄地や休耕地が増える可能性があります。JAとして何か対策をしてほしい!

4つの子会社・子法人により地域農業の維持を目的として耕作放棄地や休耕地の減少防止に取り組んでいます。

平成30年に管内全地域をカバーする「農業生産者協議会」を設立し、「農業生産者協議会」が「農業生産者」の4つの子会社・子法人により農地の維持・保全に取り組んでいます。JAでは法人と定期的に意見交換を行い、各市場との連携や農地中間管理機構等の制度を利用し、多くの農地を活用し、地域農業の維持、農地保全に取り組んでいます。

4法人が管理する農地面積

購買事業

コスト削減 事例① 営農資材の価格の引き下げ

農業者所得向上のため肥料等農業資材の価格を少しでも安くしてほしい!

農協の仕入れ先を統一し全店統一価格を確保することにより、価格の引き下げに努めています。

これまで営農センター(仮店舗)にて取り扱う農業資材はそれぞれの価格が仕入れられ、価格も店舗毎に設定していました。そこで農業資材検討会を実施し、仕入れを統一し、全店でのコスト削減を推進する体制を整え、大量仕入れを行うことで販売価格の引き下げに努めています。

令和元年度の1年間で農業や農業資材の65品目について、最大40%以上の値下げを実現しました。

全粒出用 10kg (10kg)	従来価格 244円	値下げ後 165円	約30%引き
全粒出用 10kg (10kg)	従来価格 3,333円(税込)	値下げ後 2,838円(税込)	約15%引き
全粒出用 10kg (10kg)	従来価格 966円	値下げ後 866円	約10%引き



“農業者所得向上のため農業資材の価格を少しでも安くしてほしい”という声から、価格の引き下げを多数実現しました。

少しでも農業者の皆様の負担を軽減したいという思いから、園芸資材検討会を実施しました。全店統一仕入をすることで、令和元年度は産直出荷用袋や農薬、園芸用マルチなど65品目を従来価格よりも引き下げることができました。

地域農業の維持発展に欠かせないのが准組合員の皆さまの存在です。

准組合員の皆さまは『地域農業の応援団』として、JAの事業やサービスを利用することで、農業者所得の向上や地域農業の発展に寄与してくれています。

例えば、農業を応援したい!という気持ちを持って、貯金をしたり、共済に加入したり、JAの行事に参加したり、グリーンセンターを利用して地元野菜を買って食べてくれたり、その一つひとつが地域農業の支えとなっているのです。

組合員の皆さまとともに、地域農業と安全・安心な食とくらしを守っていくためにも、これからも役職員一丸となって自己改革の取り組みを続けていきます。



准組合員は“地域農業の応援団”

地域農業応援団とは?

JAは農業を営む「正組合員」とJA事業を利用して地域を支える「准組合員」により構成されています。どちらもJAの様々な事業やサービスや施設を安心してご利用いただけます。地域を支える協同組合の仲間です。その中で“地域農業の発展”のために地域農業の発展に協力しています。

准組合員は地域の農業とくらしを支え、農家のみなさまの安定経営に貢献しています。

准組合員はどのようにしてJAの事業やサービスを利用しているのでしょうか?

令和2年3月末時点で、27,233の方が准組合員としてJAに加入しています。その中で地元産農産物の購入やJAの施設施設を定期的に利用している方は15,516名となり、准組合員の方の約57%の方が産直利用している計算になります。

項目	令和2年3月末	令和1年3月末	令和0年3月末
准組合員数	27,233人	26,302人	25,208人
産直利用している准組合員数	15,516人	14,423人	13,160人

毎年増加しております!

准組合員のみなさまに地域農業を応援していただくため、様々な取り組みをしています。

- 参加して応援!** 「かんこーする農」実践 地域農業を盛り上げるため、准組合員や子育て世代を巻き込み、農業を応援したり一人一人の思いや意見を大切にしています。
- 買って応援!** 地元の新鮮野菜を提供 地域のグリーンセンター等では地元産農産物の産地直産安心野菜を販売しています。また、産直野菜を贈呈している地域もあり、多くの方が地元産農産物の購入ができるよう取り組んでいます。
- 食べて応援!** 親子料理教室の開催 ことさらに料理教室を開催し、食育を推進し、食育の大切さを伝える機会を設けています。また、産直野菜の活用や、農家のすばしばを伝える機会にもなっています。

協同組合であるJAは「組合員」のみなさまにより構成されています。地域農業と安全・安心な食とくらしを守るためにわたしたちは組合員のみなさまとともに歩んでいきます。

みなさまの声を私たちに聞かせてください! 意見交換会の開催

組合員のみなさまはJAの構成員であり、地域を支える協同組合の仲間です。わたしたちJAが一丸となって取り組んでいる自己改革。なくてはならないJAとして、組合員のみなさまの思いを形にしたい。そんな願いを実現するため、組合員のみなさまと意見交換会を実施しました。

JAあいち尾東にはどんな施設がある?そこで何をしたいの?

山口加工所の夏季会実施!加工物の役割を知ってもらう機会に

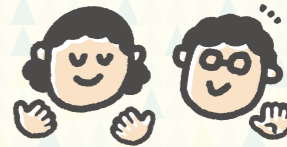
実店舗に置いてあるだけの「実店」よりもっと実感のことも知ってもらいたい。何か活用できないかな?

「実店」での配付も開始!職員が直接みなさまのお手元に届けることで実感をより深げに感じてもらえるようになりました!

各支店にて実施しておりますので、参加希望の方はぜひ窓口にお声がけください!

わたしたちは組合員のみなさまのご意見・ご要望をこれからもつなぎ、むすび、取り組みを着実に実践していきます。

是非ご参加いただき、みなさまのご意見・ご要望をお伝えください!



JAあいち尾東は組合員の皆さまからの意見・要望の反映を目指しており、その一つとして、最寄りの支店にて「組合員選抜型意見交換会」を開催しています。

様々な場面でいただいた意見をもとに、地域のよりどころとして組合員のみなさまの声や想いを具体的に実現できるよう取り組んでいます。